

「赤い羽根共同募金」ってなあに？

赤い羽根共同募金は、毎年10月から12月の間に赤い羽根をシンボルとして全国一斉に行われる募金活動で、集められた募金は民間の社会福祉事業のために使われており、地域の実情に応じたさまざまな福祉活動の貴重な財源となっています。

中区では区政協力委員や民生委員・児童委員のみなさんをはじめ、中区在住・在勤・在学している方々などの多大な参加・協力のもとに行われています。

集められた募金の約2割が愛知県内の福祉施設・団体などに配分され、残りの約8割が中区で行う民間の福祉活動へ配分されます。

＜こんなことに役立っています＞

- ・ひとり暮らし高齢者の給食会
- ・ふれあい・いきいきサロン活動、
- ・各種ボランティアの育成
- ・地域で活躍する福祉関係団体への助成などの貴重な財源として使われています。



★中区では平成30年度は8,028,293円の募金がありました。ありがとうございました。

申請書提出・問合せ先

社会福祉法人 名古屋市中区社会福祉協議会

〒460-0013

名古屋市中区上前津二丁目 12-23

中区在宅サービスセンター内

電話：(052) 331-9951

FAX：(052) 331-9953

ホームページ：

<http://www.nakaku-shakyo.jp/>

名城線または鶴舞線地下鉄上前津駅3番出入口を出て、進行方向に4つ目の角を左折し、一つ目の小さな交差点を越してすぐ左側にあります。



中区ボランティア・NPO応援助成
申請団体募集中！
5/7 (火) 締切



この助成金で人と人との繋がりがさらにつくれることを願っています。たくさんの応募をお待ちしています。

赤い羽根共同募金応援企画

助成対象事業

主に中区民が地域福祉に関心をもつことができる事業

助成金額

★ボランティア団体 上限10万円
★特定非営利活動法人 上限20万円

総額 50万円

＜過去5年間の助成事業・助成額交付状況＞

年度	団体名	助成事業名	助成額
30	なかよく回想法の会	地域(グループ)回想法	80,000円
	ボランティアグループ 成年後見支援ネット	成年後見制度紹介リーフレット編集頒布事業	50,000円
	NPO法人 ドリーム	脳卒中障害者の教室に体験入学	110,000円
	NPO法人 生涯学習ネットワーク中部	いろいろ楽習出前講座	90,000円
	NPO法人 TTSファミリー	公開講座 GID(性同一性障害)の歩き方	150,000円
29	アーバンラフレ鶴舞公園町内会 つながろう会	もちつき大会	80,000円
	NPO法人 生涯学習ネットワーク中部	いろいろ楽習出前講座	59,000円
	NPO法人 ドリーム	脳卒中障害者による“つながる”社会貢献事業	65,000円
	NPO法人 みんなのソサエティ	みんなのサポーター事業	50,000円
	NPO法人 TTSファミリー	工房まるみ	200,000円
28	NPO法人 ドリーム	障害者と健常者の障壁をなくす教室事業	106,000円
	NPO法人 名古屋おやこセンター	こどもキッチン	108,000円
	NPO法人 全国こども福祉センター	多世代とつながる☆サンプリング DE アウトリーチ	60,000円
	NPO法人 みんなのソサエティ	西別院ワンコイン朝市	70,000円
	NPO法人 ミーネット	がんを正しく知り、地域全体でがん向き合うキャンペーン「We Can!!」in大須・若宮	65,000円
27	あいち福祉まつり実行委員会	第2回あいち福祉まつり	100,000円
	NPO法人 生涯学習ネットワーク中部	いろいろ学習出前講座	100,000円
	NPO法人 ミーネット	大須発 がんになっても安心な社会を目指す「がんサイバウォーク」	200,000円
	NPO法人 みんなのソサエティ	アクティブシニアが地域の高齢者を支えるプラットフォームの整備	100,000円
26	NPO法人 LET'S 食の絆	カフェ対価で考えるこれからの介護	85,000円
	NPO法人 みんなのソサエティ	たちばな祭	100,000円
	NPO法人 生涯学習ネットワーク中部	いろいろ学習出前講座	72,000円

社会福祉法人 名古屋市中区社会福祉協議会

平成31年度版

みんながつながり

笑顔ひろがるまなづい

-この助成事業は、「赤い羽根共同募金」の配分金の一部を財源に実施します-

「中区ボランティア・NPO応援助成」申請団体 募集要項

1 この助成事業のねらい

(1) 主に中区民が地域福祉に関心をもつことができる事業への助成

中区は名古屋の中心として商業施設が集中し、新旧が入り交じり独特の賑わいがあります。一方で世帯の約7割が単身世帯、セキュリティの高いマンションが多く、住宅戸数の総数のうち共同住宅が9割をしめるなど、「顔見知り」の関係を築きにくく地域住民の関係が希薄化する一面もあります。そのため「みんながつながり、笑顔ひろがるまちづくり」を基本理念として、次の3つのいずれかの活動に取り組み、中区で生活している方が地域福祉に関心をもってもらえるような事業へ助成します。

- ① 地域住民がつながる活動
- ② 人と人がつながる活動
- ③ 地域活動やボランティア活動の担い手育成活動

(2) 「赤い羽根共同募金運動」への理解を深める

この助成事業は赤い羽根共同募金の配分金を財源として行います。助成事業や助成額の決定にあたっては、申請団体のメンバー自身による「公開プレゼンテーション」を実施するとともに、赤い羽根共同募金へご協力いただいている区民、ボランティア・NPO団体、関係機関・団体、企業のみなさんなどに審査をお願いすることで、赤い羽根共同募金運動への理解をさらに深めていただくきっかけづくりを行います。

2 助成対象団体

名古屋市中区内で活動し、この助成事業の趣旨を理解している次の団体とします。ただし、平成31年度（2019年度）に本会から他の助成を受ける（または受ける予定のある）団体は対象外とします。

- (1) 法人格を持たない任意団体（以下「ボランティア団体等」といいます。）
- (2) 特定非営利活動法人

3 助成対象事業

- (1) 主に中区民が地域福祉に関心をもつことができる事業で、2019年6月2日（日）～2020年3月31日（火）の間に区内で実施するものを対象にします。
- (2) 次のような事業については、助成の対象外とします。
 - ① 申請団体の収益を目的として実施される事業
 - ② 対象が申請団体に所属する会員に限定される事業
 - ③ この助成金のみを財源として実施される事業
- (3) 次のような経費は、助成対象経費として除きます。
 - ① 不動産の購入や事務所の光熱水費等助成対象事業の実施経費として限定されないもの
 - ② 飲食にかかる経費
 - ③ その他、事業経費として不相当であると認められるもの

※同一事業で3年以上助成を受けている場合は、新規事業を優先して選考する場合があります。

4 助成金額

総額で50万円を上限とします。

- (1) ボランティア団体等：1団体につき10万円を限度
- (2) 特定非営利活動法人：1団体につき20万円を限度

※審査の結果、助成申請額が減額される場合がありますのでご承知おきください。

5 申請方法

- (1) 別紙「中区ボランティア・NPO応援助成申請書」（様式1）に必要事項をご記入のうえ、申請書に指定されている添付書類とともに中区社会福祉協議会へ来所または郵送にてご提出ください（FAXまたはメールでの申請はできません）。
- (2) 1団体につき1事業のみの申請とさせていただきます。

6 申請から助成金交付までスケジュール

4月	1日（月） ↓	募 集
5月	7日（火） ↓ 17日（金） ↓	募 集 締 切 （必着） 第1次選考 第1次選考結果通知 ※申請者全員に文書にて通知します。 ※第1次審査を通過した団体へは第2次審査の詳しい日程についてお知らせします。
6月	1日（土） 第2次審査終了後 1日（土）	第2次審査 公開プレゼンテーション ※1団体あたり5分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。 ※第1次審査を通過した団体は必ず出席してください。 第3次審査 助成団体・助成額の決定 ※公開プレゼンテーション終了後、第2次審査の結果をもとに助成額を査定し、助成団体及び助成金額を決定します。
6月	上旬	助成金の交付

7 審査員（予定）

学識経験者、本会役員、区内の地域団体代表者・福祉関係者、区内の専門学校に通う学生・生徒、区内に事業所がある企業の役員・社員

8 その他

- (1) 申請の内容については本会の広報紙やホームページなどで公表させていただきますので、あらかじめご了承ください。ただし、申請書などに記載されている個人情報については、本会個人情報保護規程に基づき、適正に管理します。
- (2) 申請書や公開プレゼンテーションの内容については、わかりやすく適切な表現を心がけてください。
- (3) その他、この助成事業についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

【問合せ先】

社会福祉法人名古屋市中区社会福祉協議会

〒460-0013 名古屋市中区上前津 2-12-23 中区在宅サービスセンター内

電話：(052)331-9951 FAX：(052)331-9953

メールアドレス：nakaVC@nagoya-shakyo.or.jp